

「二度上峠快速行」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢から二度上峠までは、これでもかっ！というほどの連続した上り坂だった。行が上りということは帰りは下りということになる。自転車という乗り物は、標高が高い場所から低い場所に移動するのに適している。位置エネルギーを解放するだけで、何もせずに進めるからだ。ただし、ブレーキは、ケーブルやパッドを念入りに点検しておいたほうが良い。また、カーブを攻めるバイクの集団が結構走っているので、対向車や追い越し車にも注意が必要だ。



「二度上峠から見た浅間山」
ここから爽快なダウンヒルが始まる。



峠からは、はるか下に道路が見える。上りはあの地点から 30 分近くかかったが、帰りは 10 分もかからなかった。

上っている時は相当な急坂と感じたが、下ってみると意外にもゆるやか。こぎもせず、ブレーキも不要な、

自転車にとっては最も快適な道。



「サイクルメーター」 それでも、この日の最高速度は時速 51km。運転中に撮ったので、ブレてしまった。



コースの最後に古い石垣を発見。これは、旧草軽電鉄の路盤跡である。廃止から 50 年以上たっているので、自然に還ろうとしているが、石垣は残っているのだ。なかなか充実した「峠サイクリング」だった。